



心に体においしい

春から
チャレンジ!

農業ライフ

農政課 ☎775-7384 ・ ☎775-9872

私たちが普段口に入っている米や野菜、果物。もしもそんな食べ物の一部を自分の手で育て、収穫し、食べることができたなら、今までとは違う「おいしさ」と「喜び」を味わうことができるのではないのでしょうか。やって楽しい・食べておいしい「農業」の魅力を、気軽に体験してみませんか？

農業体験のココが楽しい!

- 体を動かして、普段はなかなか触れることの少ない土に触れることができる
- 体験を通じて「食育」を学べる
- 安価・安全な農作物が手に入る
- 新鮮な旬の野菜が味わえる

味ください。

上尾産のとれたて野菜はJR上尾駅西口の農産物直売所などでも購入することができますので、ぜひご賞

となりました。

また昨年6月には上尾産のトマトが市内15の小学校の給食に使用され、地場産食材に親しみを持つ機会となりました。

ます。

学校ファーム」が設置され、子どもたちが食物や自然の大切さを学んできます。

上尾市の全ての小・中学校には「学校ファーム」が設置されています。

近年、食の安全や子ども食育、

● 農業への関心の高まり

若者やシニア世代の余暇活動としての農作業が着目され、幅広い年代の人が農業へ関心を寄せています。

農業を始めてみよう!

上尾市では、気軽に農業を体験できる取組があります。
ライフスタイルに合った農業体験で、心も体も健康になろう!

子どもと一緒に農業を体験してみたい!

農業体験教室 (5ページ)へ

農家の指導で本格的な農業に挑戦したい!

体験農園 (6ページ)へ

好きな作物を自由に育ててみたい!

上尾市民農園 (7ページ)へ

農業体験教室では小学生とその家族を対象に、1つの作物の植え付けや種まきから収穫までを体験します。作物ごとに決められた日程で植え付けや収穫を行う他、各自で収穫までの作物の世話も行います。

ジャガイモ・サツマイモ・ダイコンなどの野菜は上尾市民農園(7ページ参照)で、米(田植え・稲刈り)は平方地内の田んぼで、農家や市の担当者から指導を受けて農作業をします。もちろん収穫した野菜・米は持ち帰ることができるので、ご家庭で自由に調理して味わってください。家族で土と触れ合いながら、楽しく「食育」を体験してみませんか。



●農業体験教室 (ダイコン) (9～12月)

9月頃種をまき、間引きや追肥で世話をしたダイコンを冬に収穫します。収穫時には、たくあん漬の講習会・試食も行います。



●農業体験教室 (サツマイモ) (5～10月)

5月にサツマイモの苗を植え、10月ごろ収穫します。秋の風物詩「芋掘り」を親子で体験できます。



!ここがポイント

- ◎子どもと一緒に参加できる!
- ◎農具などの準備や農業の知識がなくても気軽に体験できる

農業体験教室(ジャガイモ) 参加者募集

親子でジャガイモの種芋を植え付け、7月頃収穫します。 時 3月14日(土)9時～ 所 上尾市民農園 対 市内に在住の小学生と家族 費 20円(保険料) 定 20家族(応募者多数の場合は抽選) 申 往復はがきに教室名・住所・氏名・学校名・学年・電話番号・参加人数を記入して 2月16日(月)まで(必着)に農政課(〒362-8501本町3-1-1)へ

●体験田植え・稲刈り(6～9月)

参加者全員が一列になり稲を手植えします。ぬかるんだ土の独特な感触には、子どもだけではなく保護者からも歓声が上がります。



農業王国榎本農園

〒中分2-58 ☎・☎725-2455(榎本) ✉agri.enomoto@gmail.com
 ☎http://agri.ciao.jp/experience/

【利用期間】3月～平成28年1月 ☎35,000円

【1組の利用面積】30㎡ ☎電話かファクスまたはメールで ※2月15日(日)に説明会を行います(事前申し込みが必要)。

- 主な栽培品目 キュウリ、トマト、キャベツなど、年間で約30品目
- 講習会 年20回程度

農園から一言!

体験農園を始めて9年目になります。和気あいあいと、みんなで楽しく野菜を作ってみませんか。自分で作った野菜はおいしいですよ!



榎本 功さん(園主)

ひでちゃん農園

〒領家200 ☎090-2237-2680(領家郷づくり倶楽部の小山) ✉tommyk22@jcom.home.ne.jp 【園主】藤波秀夫さん

【利用期間】4月～平成28年1月 ☎35,000円 ☎21組

【1組の利用面積】30㎡ ☎電話かメールで領家郷づくり倶楽部の小山へ

- 主な栽培品目 ジャガイモ、小松菜、キャベツなど年間で約30品目
- 講習会 原則として隔週(土)・(日)に開催

農園から一言!

自作堆肥を利用した有機栽培が特徴です。地域資源を活用した循環型農業を目指しています。



支援団体「領家郷づくり倶楽部」の皆さん

※農園支援団体「領家郷づくり倶楽部」のフェイスブックページ(☎ https://www.facebook.com/ryokesatozukurikurabu)でも情報をご覧いただけます。

ファミリー農園 菜園倶楽部

〒平塚 1-152 ☎080-3727-7026(市村) ✉info@saien.club
 ☎http://www.saien.club(現在準備中)

【利用期間】4月～平成28年1月 ☎35,000円 ☎48組

【1組の利用面積】30㎡ ☎電話かホームページ内の問い合わせフォームで ※3月中に説明会を行います。

- 主な栽培品目 葉物野菜、ニンジン、ダイコンなど年間で約30品目
- 講習会 年20回程度(原則週末)

農園から一言!

作業計画や生育状況などをホームページで紹介していきます。一緒に農業体験をして、皆さんで楽しく収穫祭をしませんか。



市村 英一さん(園主)・薫さん

農家の指導で本格的な農業に挑戦したい!

体験農園

体験農園では、利用者が手ぶらで農園に行き農家の指導を受けながら、野菜作りを体験

することができます。それぞれに割り当てられた区画で、農業のプロが作付けから栽培管理、収穫までを教える、いわば「農業のカルチャースクール」です。上尾市では平成19年に榎本農園が開園し、平成27年度から新たに2園が開園します。『上尾市産業振興ビジョン』にも位置付けられており、新たな農業経営の一つとして期待されています。

!ここがポイント

- ◎農具などの準備や農業の知識がなくても気軽に体験できる
- ◎農家の指導があるので、大きな失敗がない
- ◎農作業を通して利用者同士で交流できる



農作業に汗を流す利用者の皆さん(榎本農園)



上尾市民農園は平成12年に開設された市民農園です。約1万㎡の敷地(農地面積)が各区画に分けられており、年単位で利用することができます。

農園内には管理棟があり、水やトイレの設備や休憩室の他、農具なども貸し出ししています。また係員も常駐しているのので、気軽に相談してください。



平成27年度新規利用者を募集(空き区画)

【利用期間】4月～ 市内に在住の人 【募集区画数】10区画前後(応募者多数の場合は抽選) 【使用料】30㎡/年額1万2千円、50㎡/年額2万円、6㎡/2,400円(福祉区画) ※福祉区画とは、車いすで利用できるプランターを設置した身体障害者専用の農園です。 往復はがきに住所、氏名、電話番号を記入して、2月23日(月)まで(必着)に農政課(〒362-8501本町3-1-1)へ

！ここがポイント

- ◎好きな作物を育てられる
- ◎自分のペースで農作業ができる
- ◎農作業を通して利用者同士で交流できる

利用者の声

数年前から市民農園を利用しています。土に触ることがストレス発散になりますし、楽しくてあっという間に時間が経ってしまうこともあるんですよ。

他の利用者とのコミュニケーションができるのも大きな魅力です。野菜の出来栄えや作り方の情報交換、収穫した野菜のおすそ分けもします。

失敗することもあります。生産者の苦勞やありがたみ分かり、日々勉強になっているなど感じています。



小川 和子さん



体験農園と市民農園

体験農園の運営は一般の農家が行っています。園主が野菜の種類などを含めた作付計画を立て、定期的に農作業の講習会を行いながら、その計画に沿って農作業を行います。それに対し、市民農園は上尾市が運営しており、利用者各自で育てる野菜を決めて栽培します。また体験農園では種や苗・肥料は園が用意するため、利用者が用意する必要はありません。野菜作りに重要な土作りも、園主が行います。

なお両農園とも、農具の貸し出しを行っている他、収穫した農作物は持ち帰ることができます。

農作物カレンダー

野菜名	冬			春			夏			秋		
	1月	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
サツマイモ					▲	▲	●	●	●	●	●	●
ダイコン								●	●	●	●	●
トマト(露地栽培)				▲	▲	●	●	●	●	●	●	●
タマネギ									●	●	●	●
ニンジン								●	●	●	●	●
ブロッコリー									▲	▲	●	●

●種まき ▲苗の植え付け ●収穫
※品種・気候などによって栽培時季が異なります。